

みやぎNPO夢ファンド（C）スタートアップ支援プログラム
平成21年度助成事業 最終報告書

平成22年4月27日

団体名	岩沼歩いて暮らせるまちづくりネット
事業名	岩沼 まるごと うまいっちゃ
助成金を使って行った事業について、ご記入ください。 (事業の様子の写真や、関連資料などありましたら、あわせてお送りください)	
(1) 概要 日本三稲荷、竹駒神社の初午（はつうま）大祭にあわせて、岩沼駅から中央通り商店街、竹駒神社にかけて、3月21日（日）春分の日、22日（月）振り替え休日と様々なイベントを開催。名付けて「岩沼 まるごと うまいっちゃ」。今年は特に岩沼藩誕生350年の節目に当たりますので、合わせて盛り上げた。 主催は「岩沼歩いて暮らせるまちづくりネット」。私たちは街を学びの場、人々が出会い、交流する場として多様性のあるまちづくりを目指し、市民、商業者、行政が一体となって取り組むトライアングル・コラボ（協働）を目指している。 今回のイベント会場は市内の所有者の協力を得て、主に空き店舗を借りて行った。まずはJR駅前の空き店舗を案内所として、市民手作りの人形「白狐行列」、江戸時代の岩沼藩の絵図なども公開。さらに「街を市民の表現活動の場にしたい」という思いから、岩沼在住の芸術家の絵画、彫刻、工芸品等を展示し、自悠空間「蔵」では球体人形作品展、公設市場では「福祉のまち アピール活動」を行った。 まちづくりネットの事務所では「琴の音で抹茶をいかが」のお休み処として、また猪股時計店2階ではコンサートも開催。さらに、空き店舗で産直市、フリーマーケット、太極拳等。以上のように15会場でいろいろな人のご協力をいただきながらイベントを開催することで、街を明るくしたい人が出会い、交流するきっかけになればという思いから「岩沼まるごと うまいっちゃ」を開催した。 岩沼市指定無形文化財竹駒奴を先頭に稚児行列等、総勢600人が市内を練り歩く竹駒神社の御神輿（おみこし）渡御は3月21日（日）午前10時から午後2時半にかけて行われた。今年は春の暴風で電車も不通になるなどアクシデントがあったが、まずは成功裏に終えた。	
(2) 本番までの道のり	
平成21年 5月 夢ファンド助成金を受ける。 11月 市内のど真ん中、中央通り商店街の空き店舗に事務所開設 「くにいだんごや」さんの隣り、格安で借りる事が出来た。光熱費等は当方負担。月曜、火曜日に開店。朝10時から3時までメンバーがつめる。	

平成 22 年

1 月 18 日 「岩沼まるごと うまいっちゃん」準備委員会
議題 開催要項の原案等を協議

1 月 22 日 各商店会への案内文書
中央商店振興会、仲町商店会等

2 月 1 日 19 時～ 第 1 回 実行委員会
会場 国井だんごや 隣 「まちづくりネット事務所」
以降、実行委員会は、うまいっちゃん事務所で行う。

(1) 開催要項

(2) 収支予算 イベント内容企画募集

2 月 10 日 JR 岩沼駅駅舎一部借用願い

2 月 22 日 実行委員会事務局 打ち合わせ

3 月 1 日 第 2 回実行委員会
イベント内容の決定、空き店舗確保

3 月 5 日 名義後援依頼
岩沼市役所、岩沼市商工会、岩沼市観光物産協会

3 月 8 日 第 3 回実行委員会 進捗状況の確認
新聞折り込みチラシ 原案作成 (事務局)

3 月 15 日 第 4 回実行委員会 進捗状況の確認

3 月 17 日 河北ウイークリー掲載

3 月 18 日 新聞折り込みチラシ

3 月 20 日、21 日、22 日 イベント開催

3 月 31 日 反省会 開催

4 月中旬 第 5 回実行委員会 開催、(まちづくりネット総会)

(3) 予算処置

夢ファンド助成金を主として使ったが、市役所へも働きかけ、予算を確保した。
(市役所予算活用： 新聞折り込み印刷、配付、空き店舗借り上げ等)

夢ファンド 20 万円

まちづくりネット 5 万円

イベント会場 15 カ所

イベントのテーマ 18 個

今年初めての行った事

みやぎNPO夢ファンド助成金 20 万円を受ける

スタンプラリー 5 箇所以上スタンプ抽選

あべ屋食堂さん 金券印刷での参加

実行委員会形式で立ち上げる

添付資料

今回の事業によって、団体の活動や地域社会にどのような成果・効果がありましたか。

1) 中心市街地活性化基本計画が頓挫して、新しい展開がなされない閉塞状況のなかで、市民が中心となって出来る範囲の事業を展開した。

(岩沼駅を中心として、中央通り商店街、竹駒神社を結ぶ回遊ルート)

2) 中央通り商店街の真ん中に事務所を開設した。まさに老若男女の誰もが歩いて暮らせるまちづくりを築いていく拠点となることを期待。

3) 当団体については、各メンバーが得意分野を発揮しながら、全体的に有機的に繋がりにイベントを開催し得た。

4) 店蔵や空き店舗を活用することで、市民の皆に自己表現の場を与えて、結果、中心地へ人が集まることのキッカケを与えた。

5) 竹駒神社の初午大祭に合わせることで、今後は竹駒神社の初午大祭とも連携して展開出来る可能性を掴んだ。

6) 実行委員会形式を取ることで、広く市民からの参加を呼び掛けた。まだまだ準備不足もあり、広く市民参加の形をとった。

7) 今後とも、なんかやりたいなと思う人達に、表現の場を与えて、「やる気を惹起」させる一助になるような気がしてきた。なんか人が集まってきそうな予感を感じる。

8) 岩沼市、岩沼市商工会、観光物産協会から名義後援は頂く。市民サイドから、常に「熱き想い」を吹きかけ続けていくことで、行政側から成果を引き出すことが出来る。お陰様でチラシ印刷等、助成があったことに感謝する。

9) 今回は、思い切って、みやぎNPO夢ファンドに応募して、助成金を頂いた。その過程で、応募のために苦労したこと、みやぎNPO夢ファンドを頂くことにより、より社会的な発信が必要になることなどを、勉強した。みやぎNPO夢ファンドに感謝。

今回の助成事業を行って見えてきた課題は何ですか。また、その課題解決に向けて必要なものは何ですか。

中心市街地活性化基本計画が頓挫して、新しい展開がなされない閉塞状況のなかで頑張った。ただ、当初の達成目標からみると未達成な部分が多い。例えば、まちづくり講演会、コンサート等の大きなイベントは不発で企画倒れに終わった。また、まちなかに拠点を作ったことは初めての試みで最大限評価されるが、事務所やネットワークの維持、継続性については試行錯誤で四苦八苦している。

その課題解決にむけて有効な手立はあるのか？

1) 商工会、地元商店街との組織的連携

イベント間近になって地元商店街との連携を模索しても、準備不足で対応できず。今まで個人的力量に頼る部分が多く、組織的対応がないことが欠陥となった。街中の商店の力を結集してイベント、ふるまいを行えるようにしたい。

2) まちなかの若人の力

今回、たまたま、飲食業の若者が参加して、「イベントの金券」を至急、印刷してくれた。これなど、まだまだ街中に埋もれた人材が多数いることが分かる。商工会とか組織的な動きも必要だが、志のある若い商店主等、若い力を結集しよう。

3) 実行委員会

今回はまちづくりネットのメンバーを中心に実行委員会を組んだが、段取り等、準備不足。また、広く実行委員会を公募すべしだろう。また、空き店舗出展者についても事前に集まってもらって説明会等が必要。早くから、企画、準備の助走期間が必要だと感じた。

街中に事務所を開設したことは画期的だが、その維持体制に四苦八苦している。人、金の両面とも苦勞しているのが現状。

1) 人材確保：確かに、まちなかサロンは良いと思うが、その維持管理が大変。事務所費用、光熱費はもちろん必要だが、そこを管理する人材が最重要だ。各自、仕事を持っていて、事務所当番もままならぬ。特定の個人に偏ってしまうのが現状。なにか打開策はないか？

2) 事務局体制：まだまだ事務局体制が不十分。これまた、個人の力によるところが大きい。各自、いろんな活動をしていて、このまちづくりネットばかりではない。3月の初午は期末に近く、忙しい時期の上に、さらに忙しくなると大変な仕事量である。

3) まちづくりネットの課題：メンバー各はそうそうたる個性豊かな活動家であるのだが、なかなかまとまりにくい。その間のすりあわせをするだけで、身体が参ってしまう。我々の力を内部の論争に費やすのは全くもったいないことだ。この体制ではネットワークは崩壊してしまう。

今回の事業を、今後どのように展開していきますか。また、その際に必要なものは何ですか。

1) 地元商店街との連携

空き店舗活用も良いが、イベント開催中だけの話。商店街に人が集まり、商店が潤っていける方策を一緒に考えていくこと。地元商店街の身になって考えないといけない。いつ行っても、なにかイベントやおもてなしをやっている雰囲気をつくり、人が集まり、結果、地元商店街が儲かるような仕組みにしたい。

2) まちなかの居場所作り

市に何かをやってもらうとか？ 市のお手伝いをするとか？ そういった視点は早く棄てること。一緒に企画して実行するという「参画」の姿勢が必要。その拠点としてまちなか居場所作りを地道に展開する。空き店舗活用だけでなく、実業している商店との結びつき、連携をしていく。

3) イベント、おもてなしの「核」を作る

今回は竹駒神社の初午大祭にかけてイベントを打った。他に核はないか？ 初午の頃はまだまだ当地方は寒くて人の動きも鈍い。町の人々の「初午大祭」に関する興味が昔と比べて希薄になった。人の動きの活発な頃、イベント、おもてなしの岩沼らしい核はないか？ 岩沼では、「夜市」や「ほろ酔いウオークラリー」とか、既存のイベントもあり、互いに連携していければ良い。

助成金の使途内訳(具体的に記入してください)

収入の部

項目	予算 (円)	決算 (円)	備考
みやぎNPO夢ファンド助成金	200,000	95,228	事業変更に伴い104,772円を返金。
会費	100,000	23,807	
イベント収入	20,000	0	
合計	320,000	119,035	

支出の部

項目	予算 (円)	決算 (円)	備考
会場費	50,000	67,296	
消耗品費	30,000	18,221	
印刷費	100,000	0	市役所の予算で実施。
新聞折り込み経費	50,000	0	市役所の予算で実施。
コンサート費用	10,000	0	費用発生せず。
まちづくり講演会	40,000	0	事業変更により実施せず。
事務局経費	20,000	22,302	
事務局人件費	20,000	0	
会議費	0	11,216	
合計	320,000	119,035	

寄付をいただいた方へのメッセージ

「みやぎNPO夢ファンド」助成金どうもありがとうございました。お陰様で、イベント開催できました。これもひとえに資金を提供して頂いた「みやぎNPO夢ファンド」に感謝しています。ここしばらくは助成金頼みになるが、自活できるよう模索していきたいです。